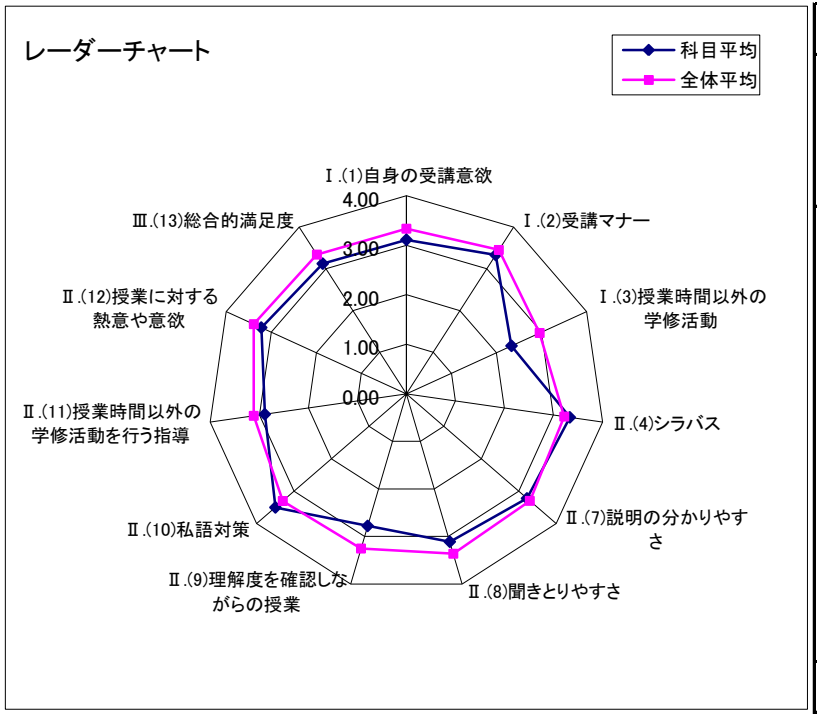
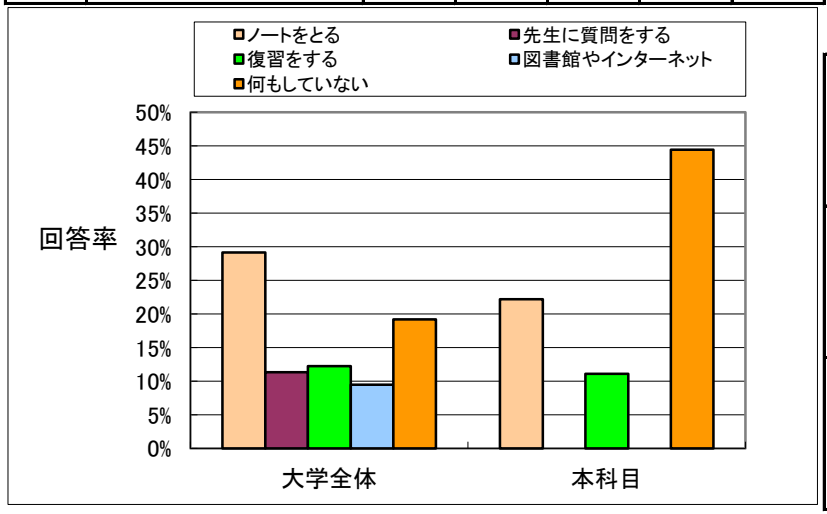
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.11	3.33
	Ⅰ.(2)	3.33	3.45
	Ⅰ.(3)	2.33	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.33	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.22	3.30
	Ⅱ.(8)	3.11	3.36
	Ⅱ.(9)	2.78	3.25
	Ⅱ.(10)	3.50	3.30
	Ⅱ.(11)	2.89	3.11
	Ⅱ.(12)	3.22	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.13	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.93	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.15	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.13	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	2461
科目名	インターンシップⅠ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の最終目的(インターンシップの実習に参加)は、はっきりしていてそれは学生にも十分伝わっていた。授業計画については順番の入れ替えなど当初の予定からの変更はあったが、決まり次第学生に伝えたので混乱は生じなかった。
難易度については、ほぼすべての学生にとって難しすぎず、易しすぎずであったので、適切だったと評価できる。

②授業の進め方について

当初の予定では、学部ごとの授業を半数程度行う予定であったが、両学部とも受講生が少なかったため、すべての回を合同で行うことにした。外部講師を招いての授業も合計5回あり、学内の先生とは異なる緊張感を持たせることができた。
毎回のワークシートで、学生の意見や質問を受けそれに返答をするなどして理解度の確認をしていたが、授業中の理解度の確認は少なかったようである。
授業全体の満足度は大学全体の平均を若干下回っている。実習に行くための準備の科目という位置づけ上、この科目に対する評価は来年度になって明らかになるのではないかと思っている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本学でインターンシップが単位化されて2年目で、担当者が二人とも初めてということもあり、準備段階から連絡を密にとり連携して行ってきた。アンケート結果は大学全体の平均を下回る項目が多かったが、今年度の反省点などを来年度の担当者に伝え、より良い科目にしていきたい。

奈良産業大学